

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

第2号

☆新入生歓迎会☆

4月27日(金)午後6時30分から、G館8階にて新入生歓迎会が行われました。参加人数は63人と今年も多くの方が参加していました。

まず開会の挨拶として、新國先生・井上さん・二通先生・藤野先生・今年度学生代表の清水愛理さんから新会員へ向けて挨拶がありました。

その後グループごとに交流が行われました。それぞれのグループでお菓子を食しながら楽しく談笑する姿が見受けられました。

交流の後には交流部企画の「人名ビンゴ」が行われました。人名ビンゴは参加者が自由に自己紹介をして、ビンゴカードのマスに名前を書いてもらい独自のビンゴカードを作成します。司会のくじによって選ばれた人は、緊張しながらも全員の前で自己紹介をしていました。

次に現会員から新会員に向けて、中山美穂の「世界中の誰よりきっと」の手話コーラスが披露されました。終了後には新会員から温かい拍手が送られました。

最後に全員で記念撮影を行い、閉会の挨拶がありました。参加者からは終始笑顔が見受けられ、新会員・現会員共に交流を深められた歓迎会となりました。



(文責：坂本直)



♪テイク講習会♪



4月25日(水)、5月10日(木)の午後6時30分からD201教室にてテイク講習会が行われました。内容は、講師役の学生が5分から15分程度の話をし、各自パソコンテイクとノートテイクに分かれ、テイクの練習をするというものです。

初めてテイク講習会に参加する1年生も多く、先輩テイカーからのアドバイスを受けて頑張っている姿が見受けられました。1年生からの早くテイクに入りたいという声も多く、2年生以上の学生も新たなテイカーを育てるため、引き締まった気持ちでテイク講習会に励んでいました。

(文責：大川真奈)

♪車椅子講習会♪

5月15日(火)午後5時からC311教室にて、車椅子講習会が行われました。

参加者は、まず介助の概要や被支援学生の車椅子の説明を受けました。次に、A・B・C・Dの各グループに分かれ、新会員と現会員の交流を目的とするグループ交流を行いました。その後2つのグループに分かれ、路上や大学内での介助の注意点や被支援者の通学ルートの確認、衣服の着脱について教わりました。

今回は雨天の中での講習会となってしまったため、外に出て実際に介助を体験することが出来なかった参加者もいましたが、初めて介助に携わる会員にとって、現会員との交流や、介助についての知識を深める良い機会となりました。

(文責：宇都莉奈)



♪手話勉強会♪

4月13日(金)から今年度の手話勉強会が始まりました。手話勉強会は、毎週金曜日の午後6時30分から1106教室で行われています。毎回、講師の小川さん・佐藤さんをお招きして、復習・企画・講座という流れで手話を勉強しています。

5月11日(金)の勉強会では、講師の代わりに、人間科学科1年の石塚龍さんより、自身の生い立ちや、ろうについての講演がありました。普段はなかなか聞くことのできない話に参加者は興味深そうに耳を傾けていました。

(文責 坂本直)



♡ I Love BF ♡



今回の「I Love BF」は、今年度の新規会員を代表して、石塚龍さん（人間科学科1年）と曳田和樹さん（人間科学科1年）に集まっていたき、お話を伺いました。

※BF＝バリアフリー



石井：大学入ってみてどうですか、今の気持ち。

曳田：あれよあれよという間に1ヶ月経っていました。

石塚：入学してみて不安だったけど、BFに色々協力してもらって、今は楽しいです。

石井：BFに入って、楽しい？

石塚：楽しい。

石井：2人とも？どんなところが楽しい？

石塚：BFはみんな手話使ってくれるので、わいわい楽しんでやってくれるので自分も楽しい。



曳田：そうですね、もともといろんな人と話すきっかけになったのがBFだったので、仲良くなれて良かったです。何が楽しいわけじゃないけど、みんなと関わることが。

石井：BFが日常になる感じ？大学の。

曳田：そうですね。1つだけ思ったこと。BF、BFじゃないってことじゃなくて、大学のみんなが気づいた時に扉を開けてくれるとか、BFの垣根を越えて手伝ってもらえるので、過ごしやすい1ヶ月でした。

石井：うちの大学、基本的に2人みたいな障害を持った人がいるのが普通のところあるから、助け合いの気持ちをみんな持ってると思う。あと、個人的に1つ聞きたいんだけど、2人とも、普通高校出身じゃないよね？それで突然健常者ばかりの大学に入って、戸惑いはあった？

石塚：普通です。大丈夫。

曳田：普通の公立学校だったので、予想はつきやすかった。

石塚：小さい頃から親に健常の世界に連れてってもらってたから、普通にいられる。

曳田：ろう学校と、養護学校は小さな存在で普通の人と関わるのが普通だったので、その中に大学もあった。



石井：2人の話をきいて、俺も特別支援教師を目指してるから、そういう違いがあるか気になってたから。

石塚：今はろう学校や養護学校が普通の学校として扱おうって思いもあるから、気にしなくていいと思う。

曳田：普通に生活していくことが自分の夢だから、特別なことやるってわけじゃない。

石井：最後にBFに入って、今後やりたいこと、やってほしいこと、自分の将来でもいいけど、ちょっと教えてほしい。

石塚：やりたいことは、自分にとっては1つだけ。BFに入って、ろうの人もあるけど、それだけでなく健常者と他の障害を持っている人もいるから、大学全部じゃ厳しいけど、障害を持つてる学生の気持ちをわかってもらって、もっといいBFにしたい。

石井：そういうのって、やっぱり最初のきっかけがBFで、それがBFに入ってる俺らみたいな健常者から広まっていくといいね。



曳田：もともと、支援をしてもらってる立場でこういうところに関わるが多かったんで、自分から支援をしてもらってる人に恩返しをするみたいな、なにかできることはないかなと思う。

石井：2人とも大人！ひっきー（曳田さん）は支援をあんまり受けてないよね？

曳田：でも、これから大雨とか、雪道とかで。

石井：そんな感じかな？今日は、2人ともありがとうございました！

石塚・曳田>ありがとうございました！

石井>俺も支援する立場として嬉しいし。1年生でまだ入って1ヶ月なのにいっぱい考えてくれて、嬉しいと思いました。これからもみんなで協力して、いいBFにしていきたいと思います。お疲れ様でした！！！！

みんな>お疲れ様でした！！！！



取材：石井建雄
記録：宇都莉奈
撮影：坂本直



編集後記

藤田和真：(´・▽・`)bグッド！

阿部直也：広報部は楽しいです！

平大樹：楽しかった！いえーい\ (^◎^) /

佐々木美優：疲れたが、色々勉強になりました！

清水愛理：推敲お疲れ様でした！！1年生初参加やったねー！おつかれさまでした！

瀧澤颯大：いろんな意味でおもしろいです（笑）

山口順也：お疲れSAMAんさたばさ！

越智裕太：山口さん大好きです♥

石井建雄：直ちゃん春バージョン

大川真奈：「文責大川」に対しての文句は受け付けません。お疲れ様でした！

坂本直：推敲お疲れ様でした！インタビューもご協力ありがとうございました♪

